

老年医学

授業概要

生活習慣病等による老年期における神経系、内臓系、運動器系等の機能障害の病態生理と予防、治療、高齢者の健康福祉システム等について教授する。

担当教員

山口修平（主担当） 教授・内科学第三
矢野彰三 准教授・臨床検査医学

授業の形式

オムニバス形式を基本とする。

教育内容

1. 循環器疾患、糖尿病の頻度と分布を測定する技術を習得させる。
2. 循環器疾患、糖尿病の発生の要因を明らかにするための基礎的知識を習得させる。
3. 集団を対象とした循環器疾患、糖尿病の予防対策の立案、実施、評価に必要な知識を習得させる。
4. 運動・知覚レベルから高次認知機能までヒトの行動を支える神経機構を理解させ、加齢や老化に伴う機能低下そして各種疾患による中枢神経障害に基づく神経機能障害の病態およびその治療について取得させる。
5. 高齢者の栄養不良（やせ）や栄養過多（肥満）が生命予後、心血管疾患および骨折の発症に与える影響とその病態を解明するために必要な知識と技術を習得させる。

成績評価の方法

講義のテーマに関するレポートの評価及びセミナーへの出席による。

使用テキスト・参考文献

適宜参考文献を紹介する。